審査員特別賞　「忘れられないこと」

　　　　　　　　　ニェイン　ニェイン　トッ　さん　（ミャンマー）

２０２２年４月に日本へ来ました。一人暮らしはとても寂しかったです。最初は部屋の中は壁だけでした。カーテンも付けてはありませんでしたので、夜も灯りをつけなくて真っ暗でした。

朝起きて母親と連絡をするのが日課になっていました。母親の声を聞かないと何もしたくない、何もできなくなるようになっていました。学校も思うとおりにうまくいかなかったです。周りの人より自分は本当に弱いかなあとがっかりしていました。自分はこれからどうすればいいのか、どんなことが必要なのかといろいろ考えましたが、将来への不安がとても大きくなって、どうしたらいいのかわからない状態でした。

そんな状態で１か月が過ぎました。毎日つらかったです。そんなある日、公園で一人の子供に会いました。そのことがこれからのすべてを変えるきっかけとなりました。

彼は5歳くらいで、おかあさんといっしょに公園へ来ていました。彼は歌を歌いながら遊んで、ブランコに乗ったりしていました。ブランコに乗っていたかと思うと、突然私のとなりに座って、じっと私の顔を見て、にっこりしながら「こんにちは」と言いました。私も「こんにちは」とあわてて返事をしました。そのとき、急に心が晴れて、勇気が出てきたようでした。私は今まで気づきませんでしたが、周りの人は美しい、日々の暮らしは美しい、自分の将来も必ず美しくなるとわかったとき、涙が出てきました。涙で前がよく見えなくても、自分の足で家に帰りました。その出来事が私の中で忘れられないことになりました。

それからです。私は徐々に変わっていきました。一人暮らしは寂しいけれど、毎日「こんにちは」と言って積極的に友達作りをして、アルバイトも探してみよう、自分が弱かったし、勉強も遅れてしまったので、今から毎日頑張ろうと思いました。今できることは頑張ることしかありません。あとは自然にまかせよう、何とかなりますよと自分に言いました。だから、今こそやる気をもってやってみようと考えました。

どうして「こんにちは」という普通の言葉なのに、私にこんなに力を与えてくれたのでしょうか？皆さんはどう思いますか？それは普通だけれど、普通にあいさつをできていなかった私に問題があったのだと思います。「こんにちは」と言って前に出ることで、毎日が素晴らしくなることがわかりました。小さいことですが、自分が大きく変わることができるのだとあらためて思いました。皆さんの周りにもこんなことがありますか?

ご清聴ありがとうございました。